

曝露（針刺し）に対する抗HIVウイルス薬予防内服の基準表

感染源の状況 による分類		無症候性HIVキャリア ウイルス量が低い とき(血中 HIV-RNA 量が1500コピー未 満)	AIDS期 初感染期 (血中HIV-RNA量が 高いとき)	曝露源患者のHIV 感染の状況が不明 または未確定のとき	曝露源検体の由来患 者が不明のとき(例: バイオハザードボック ス内の針や廃棄する 血液による曝露)	HIV陰性の患者
針 刺 し	少量(中空で ない針で皮膚 の表面だけの 穿刺など)	予防内服を推奨		通常予防内服不要 (HIV感染が考えら れる場合は予防内 服を考慮し、陰性が 判明したら中止す る)	通常予防内服不要 (HIV感染が考えられ る場合は予防内服を 考慮する)	予防内服不要
	多量(太い中 空針/深い穿 刺/明らかな血 液の付着/血 管内に挿入し ていた針など)					
皮 膚 粘 膜	少量(2~3滴 の体液など)	予防内服を考慮	予防内服を推奨			
	多量(吹き出し た体液など)	予防内服を推奨				